

[休眠預金活用事業]

公募前研修 情報公開・広報の留意点

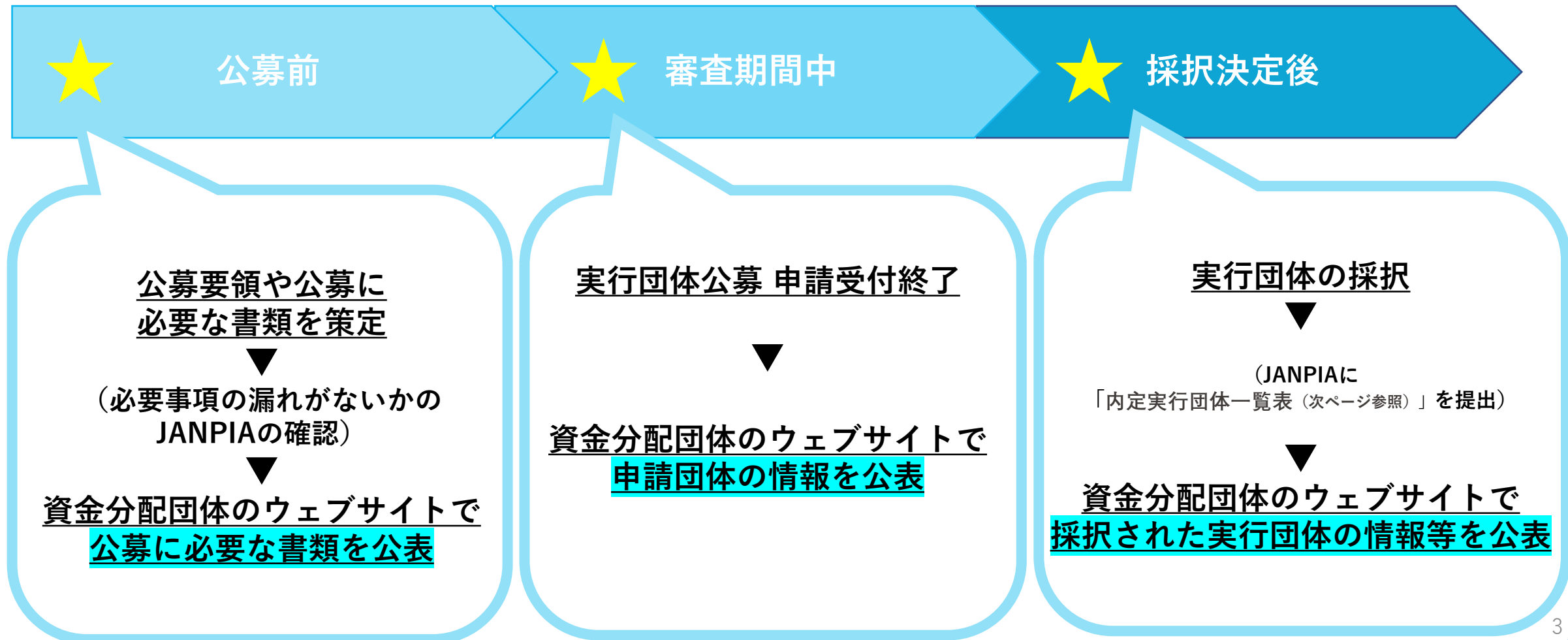
JANPIA 企画広報部



【復習】

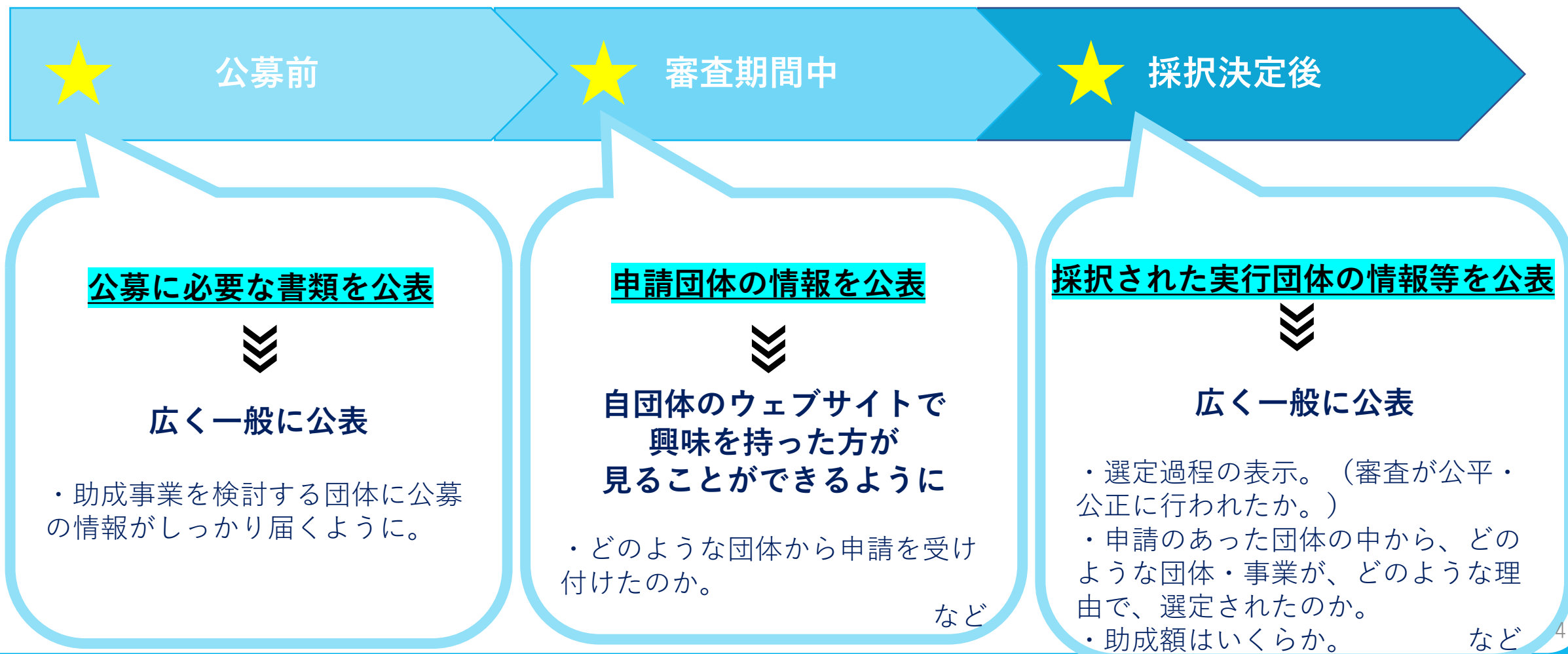
実行団体の公募で
「情報公開が求められている事項」

実行団体の公募で「情報公開が求められている事項」の復習！



「情報公開」のポイントは？

事業が完了するまで、公開をお願いします！



【ご参考】 情報公開確認表

内定実行団体一覧表の
エクセルファイル内に
同書類があります。

【申請団体の公表（資金提供契約より）】	
第 4 章 実行団体の選定・監督（実行団体の選定）	
第 17 条	
2. 乙は、 <u>実行団体の公募に申請した団体の情報（団体名・所在地・事業名・事業概要）を、募集終了時に乙の Web サイト上で公表するものとする。</u>	
選定時公開項目チェック表【申請団体】	
団体名	
所在地	
事業名	
事業概要	

【採択団体の公表（資金提供契約）】	
第 4 章 実行団体の選定・監督（実行団体の選定結果の開示）	
第 18 条	
1. 乙は、 <u>選定した実行団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、選定された各実行団体に対する助成の総額及び内訳並びにその算定根拠を、乙の Web サイト上で広く一般に公表しなければならない。ただし、公表にあたっては、当該実行団体の正当な権利又は利益を損わないように配慮しなければならない。</u>	
選定時公開項目チェック表【採択団体】	
選定過程 ※ 1	
団体名	
事業名	
事業概要	
選定理由	
助成額（総額）	
助成額（内訳）	
算定根拠 ※ 2	

※ 1 選定過程に関して

選定過程を公表することにより、実行団体の選定が公正・公平に行われたことを示すことが目的です。
公表の形は問いませんが、「公募の実施」「第三者の専門的知見を取り入れることができる会議体の組成と開示の実施」などがわかる形で選定過程をまとめ公表してください。

――――
〈以下、資金提供契約より抜粋〉

第 4 章 実行団体の選定・監督

（実行団体の選定）第 17 条

1. 乙は、公募の方法により、実行団体を選定するものとする。
5. 乙は、実行団体の選定にあたっては、実行団体の選定の公募に申請する団体（以下「選定申請団体」という。）との面談を行うとともに必要に応じて現地調査を行い、併せて外部専門家から構成される会議体等、第三者の専門的知見を取り入れることができる会議体（以下「審査会議」という。）を組成し、審査会議をして選定申請団体の審査を行い、乙の理事会等の意思決定機関で決定するものとする。
- 乙は、係る審査の過程において、審査会議の構成員と選定申請団体との間で利益相反の問題を生じないように配慮するものとする。

※ 2 算定根拠に関して

当初は実行団体の事業計画や資金計画をPDFでアップしていただく方向で考えておりましたが、皆さまへのご負担を削減するために、実行団体の計画に基づいて算定されたことを示す文言（例）「※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております」を入れていただくことで、算定根拠の公表とさせていただきます。

なお、もし事業計画・資金計画を見たいという問い合わせがあった場合は、個別対応（据え置きでご覧いただくなど）をお願いします。

事例

•

参考資料

【事例】 通報事例

〔通報内容〕

実行団体の採択に関して、「公募」という形をとっているが、資金分配団体が採択しようとしている団体が既に決まっているようだ。



〔対応〕

当該資金分配団体へ連絡、通報内容を伝達
(※通報者より、伝達していいとの許可応諾済)

★公募については透明性などに十分留意するように伝え、了解を得た

丁寧な情報公開・広報＝リスクを低減する

【参考資料】公募実施にあたって、参考となる資料

- 「データ集」

- 各資金分配団体の申請団体数や採択団体数、助成額などを一覧表示しています
(1.2 資金分配団体を実施する「実行団体の公募」についてP17-25) ([リンク](#))

- 「公募結果報告」

- 19年度通常枠 ➡ [PDF公開 ([リンク](#))]
- 20年度コロナ枠 ➡ [PDF公開 ([リンク](#))]
- 20年度通常枠 ➡ 「システムで公開休眠預金活用事業サイトで公開 ([リンク](#)) 」
(検索窓で、「公募結果報告」を検索してみてください！)

(21年度事業については公開準備中。)

- 「資金分配団体の過去の公募ページ」

- 上述で気になる団体について、確認してみてください。

お願い

①シンボルマークの掲出

- ・シンボルマークの掲出をお願いします。

資金提供契約第28条 1

乙は本事業を実施する又は実行団体をして民間公益事業を実施させるにあたり、休眠預金等交付金に係る資金を活用して実施する事業であることを示すため、甲が指定するシンボルマークを表示し、又は、実行団体をして表示させるものとする

【データはこちら】

JANPIAサイトトップページ>団体専用>休眠預金を活用した事業シンボルマーク関連情報

<https://www.janpia.or.jp/dantai/symbol/>



休眠預金を活用した事業です

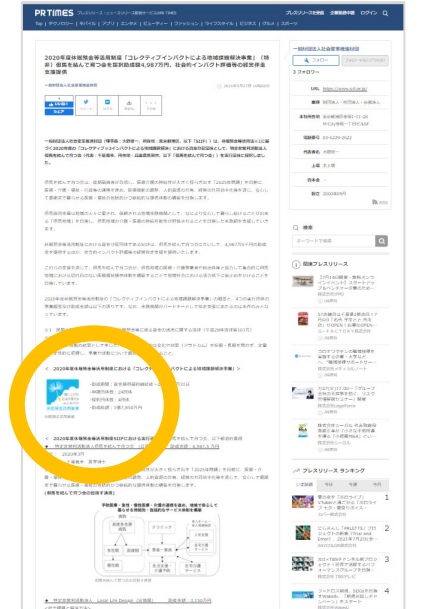
情報発信時のシンボルマークの活用例



プラスソーシャルインベストメント/京都北都信用金庫
(採択結果の公表・メディア発表)



公益財団法人 オリオンビール奨学財団



プレスリリースやウェブサイトなどでの活用



※バックパネル1台ですが貸出可能

②JANPIAへの公募情報の連携

- JANPIAにも「実行団体の公募」のお問い合わせがよくきます。
- 公募情報をJANPIAでも「広く一般に公表」していきます。
- 公募開始の情報の連携をよろしくお願いします！

JANPIAのサイト

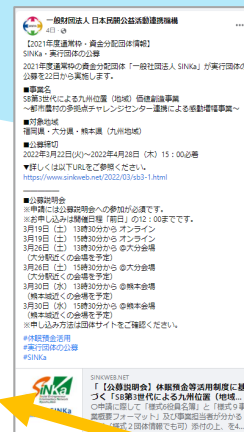
- お知らせ
- 実行団体の公募



JANPIA Facebook

- 公募情報の紹介

Facebook



休眠預金活用事業サイト

- 公募情報の紹介
(記事 & tweet)



フォロー、ぜひします！

③SNSでの情報発信での「#ハッシュタグ」

- SNS情報発信の際は、ハッシュタグをよろしくお願いします！

#休眠預金活用

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団さんはFukuoka Prefectureにいます。 7月21日

【遂にキックオフしました！】
7月20日に休眠預金活用事業「誰ひとり取り残さない居場所づくり～学びの場における子ども若者の孤立解消と育成～」のキックオフミーティングを開催しました。

会場、オンライン合わせて約70名の方々に参加いただき、休眠預金活用制度のことや本事業の内容について広く知ってもらう機会となりました。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました！

これから3年間、共に事業を行う3つの実行団体のプレゼンや思いを聞き、三者三様の素晴らしい団体さんと事業を実施できることに改めて感謝しました。

2010年からの10年間で小中学生は100万人も減少しているのに、不登校児童の数は増え続け約20万人いるとされています。

日本や地域の持続可能性を考えた時に、この社会課題の解決は待ったなしです。

本事業では、学校に行けない行かない子ども若者（所謂、不登校の子ども若者）が自分に合った学びの場を選択できる地域社会を目指します。

子どもの権利が守られ、子どもが自分自身の意志で選択できる社会づくりをしています。

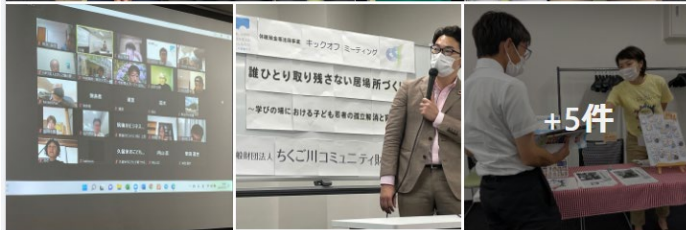
ここからがスタートです。

「誰ひとり取り残さない」を実現するために、3つの実行団体との強力なパートナーシップのもと進んでいきます。

この事業には皆さまの力が必要です。

引き続き、どうかご協力をよろしくお願いいたします！

#休眠預金活用
#JANPIA
#資金分配団体
#実行団体
#ちくご川コミュニティ財団
#家庭教育研究機構
#未来学舎
#箱崎自由学舎ESPERANZA
#誰ひとり取り残さない居場所づくり
#筑後川関係地域
#福岡
#久留米
#飯塚



株式会社 南阿蘇ケアサービス

9月30日 8:55

【第一回イベント・南阿蘇食堂を開催しました！】

落ち葉がだんだん増え、秋を感じる9月25日、休眠預金助成金活用第一回目のイベントと南阿蘇食堂を開催しました！

100名を超える方々が足を運んで下さり、笑顔溢れる会になりました。

第一部は外国籍の方を対象に村の防災官の協力のもと、災害対策講座を。

その後、日本文化の紹介として剣道と和太鼓の時間を設けました。

緊張している子どもの表情や、演奏中のキラキラした笑顔...そしてネパール出身の方から、自然に拍手が沸き起こって、素敵な空間になりました。

第二部はグループディスカッション。外国籍の方が多くいらっしゃるこの地域で、将来インターナショナルカフェを開催していけたらと考えてます。その前段としてのこのディスカッション。南阿蘇在住、在勤の方にファシリテーターと進行をお願いしました。（村上カオさん、本山香葉子さん）

南阿蘇の良いところやあったら良いなと思うことなど、子どもから高齢者、外国籍の方々と交えて、色々な意見が出ました！

子どもの発想は素晴らしいと思わせてくれる瞬間でした。

第三部は南阿蘇食堂と名付けた地域食堂。地元の厚生保護女性会の方がボランティアでとても美味しい食事を作ってくださいました。

食材には、たのくろ農園、菜の風園、くまもと清陵高校、いっご農園...と地元の野菜などを購入して活用しました。

翌日、沢山の方から

「良かったよ〜」「面白かった」「最高だった」「楽しかった！」「美味しかった」「また行きたい」と、声をかけていただきました。

今回のイベント・地域食堂は休眠預金の助成金を活用し、もっと元気に】を目的とした事業です。色んな支援がある事で、ここまで盛大にスタートさせ繋がりを実感できました！

忙しい中、手伝いに来て下さった方、本当にありがとうございました。たった一回の開催ですが、手応えを感じています。色んなご縁が繋がって、それぞれに役割がある。これ입니다。

今後のスケジュールです！

10月30日（日）15時〜 子育て支援関連ワークショップ

11月27日（日）10時〜 アイデアカレッジ文化祭、eスポーツ体験

面白い企画を考えています！

またご参加ください。よろしくお願いします。

#休眠預金活用
#JANPIA
#支え合う多様なコミュニティづくり支援事業
#南阿蘇ケアサービス
#地域食堂
#南阿蘇食堂



④実行団体の「情報発信の基盤整備」

実行団体の事業計画策定時あるいは見直し時等でアドバイスする際にご検討いただきたいこと

- 実行団体の中には、「ウェブサイトがない!」「SNSをやっていない!」など情報発信の基盤が整っていない例があります。
- 本事業の情報公開に要するの費用（Web制作、シンボルマーク掲出に係る費用など）も計上可能です。
- 情報発信は実行団体の事業継続性などの観点から重要な要素です。
- **実行団体が継続可能な形での「情報発信の基盤整備」の検討を、よろしくお願いします。**

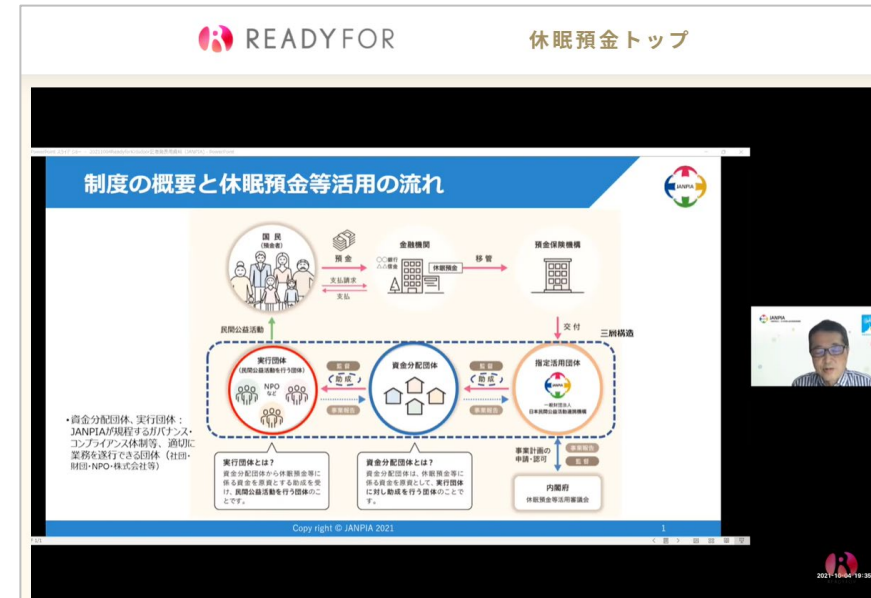
最後に

！ JANPIA 企画広報部をぜひ活用ください

- ・プレスリリースの事前確認（文言の確認など）
- ・プレス発表のお手伝い（休眠預金活用事業の全体の説明） などなど



実行団体 よしもとラフ&ピース
（株）外国人記者クラブでの
休眠預金活用事業の発表



READYFOR
公募に関するメディア向け発表での
休眠預金活用事業の説明

いつでもお問い合わせください！

メール

info@janpia.or.jp

電話

03-5511-2026（企画広報部 直通）



情報発信の際は、ハッシュタグ「#休眠預金活用」！